



介護はお年寄りの生活を支える仕事です

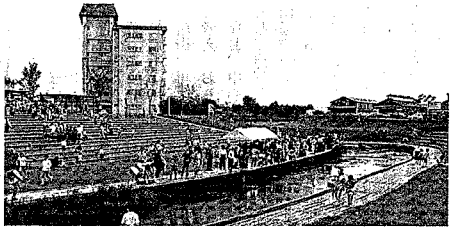
「前ページからつづく」
充実によって何とかしのいでいるからにはかなりません。しかしこれとて、このまま廃棄物の量が増え続けば立ち行かないことは明らかであります。
当市の廃棄物処理については、クリーンセンターの完成を機に、新年度から大型ごみの戸別収集、持ち込みごみ等の受付日の拡大、オゾン層破壊の原因となるフロンガスの回収に新たに取り組んでまいります。また、資源ごみは徹底的にリサイクルに回していきたいと考えております。市民の皆さんからも、あらためて日々の生活の基本的なところを見つめ直していただき、ごみの減量化と資源化に向けて、知恵を絞った生活文化を確立していただきたいと願わずにはいられません。
なお、市之瀬の最終処分場が、現時点での見通しでは平成年度で満杯となりますことから、新たな処分場の計画を急いでまいります。

次に、水環境に対する取り組みであります。
公共下水事業は新年度から第八次五年計画がスタートいたします。国では全国の普及率が、六十六パーセントまで引き上げることと目標にしておりますが、当市におきましては、五十五パーセントを目標準として事業を進めてまいります。
公共水域の水質保全をはかるに

は下水道の普及が不可欠であり、私たちが毎日口にする水道水は、まさにこの公共水域を水源としております。同じ流域内に住む人々から、生活共同体としての認識と「水のリサイクル」という理解を持つていただくことが大切であると思います。
私は、常に自然との共存・共生を意識したまじくづくりに努めてまいりました。蛙の回帰する川に、蛍の舞う川にという取り組みはその一例であります。これは一方で、「水循環の監視」という側面も合わせ持つものであることをご理解いただきたいと思います。
新年度におきましては、例年別々に開催しておりました「水道展」「下水道展」を一つにし、さら

に手づくり石鹸なども紹介する新たな企画を考えております。これを機に、市民の皆さんから水に対する理解を一層深めていただければと願っているところであります。
なお中東蒲原地区の市町村では、水道水の水質管理をより効果的にするため、広域的な管理体制の確立について研究を深めることとしております。

次に、交通網の整備であります。
地域の美観に見合った生活道路の整備に力を注ぐとともに、警視自動車道の全通を視野に入れて、国道四六〇号、国道四〇三号、阿賀バイパスなど、広域的な幹線道



集う人にやすらぎを与える新津川

こうした課題の解決方法として、近年、「交通需要マネージメント」という考え方が出てまいりました。これは顕在化した交通需要に対して、施設整備によって対応するというものではなく、人や企業の活動内容、交通行動などの交通需要の源に直接働きかけて交通をコントロールするという方法であります。新年度におきましては、自動車から公共交通機関であります鉄道への交通行動パターンを変える「パークアンドライドシステム」について、新しい駅の設定と合わせて検討してまいりたいと考えております。

さて、どんな時代においても都市に必要なものは、多目的機能を果たす公共空間であります。そして、この空間と建造物群の調和がはかられて、快適な空間、美しい景観が作り出されるものであります。歳月を経てもなお新鮮さを失わない社会資本の蓄積は、個性ある都市美を創出するものと確信しております。
引き続き、「水と緑のネットワーク」構築の着実な実現をはかるため、「水循環再生下水道モデル事業」「フラワーストリート事業」、新津川の整備に取り組む、個性ある美しいまちづくりを進めてまいります。
こうした公共事業による美しいまちづくりはもろろん重要であり

健康で心ふれあいまじり

まず、市民の皆さんと事業所、それに行政が三位一体となって知恵を出し、それぞれが果たすべき役割を担うことが必要です。
健康は自分に贈ることができる最高の宝であり、長寿社会の恩恵を受けるための根本となる課題であります。健康づくりは、日常生活における自らの認識と自主的な実践が基本であると考えますが、平均寿命の伸び、疾病構造の変化などによって、保健需要は増大化、多様化してきております。こうした現状認識に立って、健康教育や健康相談をはじめ、各種検診、機能訓練などの保健サービスと総合的、機能的に行い、市民の皆さんの健康増進に努めてまいりたいと考えております。

新年度におきましては拡充をはか
つた主な事業について申し上げます。市民の皆さんの関心が高い「骨粗しょう症健診」を、骨量の減少が最も懸念される四十歳から五十九歳の希望者全員を対象に実施することといたしました。また、増加傾向にある大腸がん対策についても、老人保健法に基づく精度の高い検査方法を採用したいと考えております。いずれも早期発見、早期治療が重要でありますので、多くの市民の皆さんがご利用いただきたいと思います。
さらに、高い母乳育児率を示しております乳産のう蝕予防策として、希望者を対象にフッ素塗布を実施し、その経費の一部を支援することといたしました。これと並行して、歯の健康に対する理解を深めていただくため、保護者への歯科保健指導も合わせて実施し、「新津市歯科保健計画」の進展に努めてまいります。
なお、広く市民の皆さんからご利用いただいております保健福祉センターの入浴施設の利用時間を延長し、サービスの向上をはかるとしてまいりたいと考えております。

次に、福祉施策について申し上げます。
介護はお年寄りの生活を支える仕事です。市域全体の「美」を創出するには、行政だけでは不可能なことは論を待たないところであります。

割を自覚するものでなければ、その実現性は担保されません。皆さんと手を携えて「ともに考え、とべます」。
当市の六十五歳以上人口の割合は十八・一パーセントに達しております。この比率は少子化の進行とあいまって、今後、さらに上昇を続けることが予測されますので、財政計画との調整をはかりながら、「新津市保健福祉計画」を踏まえた諸施策の推進に努めてまいりたいと考えております。
さて新年度から、白根市と亀田町で特別養護老人ホームの建設が本格的にスタートいたします。平成九年度に開所の予定であります。新津市はいずれの施設に対しても構成団体となっておりますので、建設のための応分の負担金を提出し、所定のベッド数の確保に努めることといたしました。
ところで厚生省は、新しい高齢者介護システム「公的介護保険制度」の創設に向けて諸準備を進めているところであります。運営主体や保険料負担の問題、あるいは介護サービスの質、量などをめぐって、今しばらく時間を要するものと思われ、高齢者が、国の動向を注意深く見守りながら当市の現状をきめ細かに把握してまいりたいと思っております。

お買物、ご用命は市内で

4月はフェア月間 Let's チャレンジ!

自分に向合うエクササイズをさがしてみませんか(4月中はひとめぐりOKです)

全講座 〇レッスン 無料

全開講 〇入会金 無料

心と体の交流基地

カルチャーくらぶ

本町教室(栄町イウラ2F)

駅前教室(駅前三軒ビル3F)

お問い合わせ

TEL(22)3102

FAX(23)3862

※英会話は初級クラス(中学生~大人)を新設。4/17(水)PM6:30スタート

マツサージ

ダンベル

ヨガ

沖 功

社 友

タニクス

幼児教室

カオケ

英会話

仏会話

書道・ペン字

フラワーデザイン

アートフラワー

お花のコーディネート

※印は新講座

全果樹金貨

結果 栄大町

粋なうまさ

銘菓 ぞか大福

美味 いちご大福

ご慶弔式菓子

田家屋

月曜定休日

新津市本町四丁目 ☎&FAX 22-0430

健康家族

なら新津薬局

保険調剤(各科病・医院の処方せん受付)

ツムラ漢方薬・ツムラ化粧品・健康食品

新津駅前本店 (24) 6311

おぎかわ駅前店 (24) 6322